

令和5年度事業報告

令和5年度事業報告

【 I 法人本部 】

令和5年度の運営経過として5類感染症へ移行したものの引き続きコロナ禍での事業運営、利用者支援となったことから前年度に引き続き感染対策の徹底を講じつつ、各事業の運営、利用者の活動支援、行事等の実施を一定の制限を行いながらも推進できた1年であった。また令和5年9月より法人の公益的かつ新たな取り組みとして開始した「地域交流・活性拠点ひよし吉日」もオープンし社会福祉事業だけでなく日置福祉会の先駆的な事業とすべく、そのスタートを切った年度となった。

1) 令和5年度 理事会・定時評議員会等の開催状況

種別	回数	開催日	議案
理事会	第1回	令和5年 5月12日	1. 令和4年度事業報告書の承認について 2. 令和4年度収支決算書類（案）の承認について・監事監査報告 3. 育児・介護休業等規程の改正（案）について 4. 基本財産の処分（案）について（公益事業用財産への移行） 5. 定款変更（案）について（基本財産の追加及び公益事業に関する事項等） 6. 公益事業用財産の建物・土地の担保提供（案）について 7. 評議員選任・解任委員の選任（案）について 8. 次期役員（理事・監事）候補者の選任（案）について 9. 令和5年度定時評議員会の招集（案）について
	第2回	令和5年 5月30日	1. 理事長の選定について 2. 副理事長の選定について
	第3回	令和5年 6月13日	1. 定款変更（案）について（基本財産処分後の改正） 2. 令和5年度臨時評議員会の招集（案）について 3. 令和5年度第一次収支補正予算（案）について
	第4回	令和6年 3月16日	1. 令和5年度第二次収支補正予算（案）について 2. 令和6年度事業計画（案）について 3. 令和6年度収支予算（案）について 4. 障害福祉サービス事業運営規程の改正（案）について *事業継続計画（BCP）策定の義務化に伴う

事 会	回		5. 正規職員・準職員等給与規程の改正（案）について *送迎手当の変更に伴う 6. 苦情解決規程に規定する第三者委員の選任（案）について 7. 報告事項 (1) 令和5年度うめの里相談支援センター実地指導結果について (2) ひよし吉日事業経過（半期）について
--------	---	--	---

種別	回数	開催日	議案
評 議 員 会	定 時	令和5年 5月30日	1. 令和4年度収支決算書類（案）の承認について・監事監査報告 2. 役員報酬規程の改正（案）について *オンライン化に伴う改正 3. 次期役員（理事・監事）の選任について 4. 基本財産の処分（案）について *公益事業用財産への切り替え 5. 定款変更（案）について *基本財産の追加及び公益事業に関する事項等 6. 公益事業用財産の建物・土地の担保提供（案）について
	臨 時	令和5年 6月23日	1. 定款変更（案）について *基本財産処分後の改正

2) 令和5年度実施事業

《第二種社会福祉事業》

- ① 障害者支援センターうめの里の経営（就労継続支援B型事業）
- ② 生活介護事業所なないろの経営（生活介護事業）
- ③ 共同生活支援事業所ゆうの経営（グループホーム）
- ④ うめの里相談支援センターの経営（特定相談・障害児相談・一般相談）

《公益事業》

- ① 日中一時支援事業（日置市・南さつま市・いちき串木野市・薩摩川内市よりの委託事業）
- ② 地域交流・活性拠点ひよし吉日の運営

【 II 障害者支援センターうめの里 】

令和5年度事業目標として、前年度平均工賃21,751円を上回る25,000円の平均工賃支給を年度目標に掲げ利用者の生産活動支援および一般就労訓練に取り組んだ。役務作業では前年度までのコロナ禍の影響が軽減されたことと作業班のスキルアップが図ら

れたことから微増ではあるが収益アップに結び付けることができた。半面、食品加工作業では外注件数の未回復と9月にオープンした「地域交流・活性拠点ひよし吉日」への職員異動ならびに利用者の一般就労訓練の開始により人手不足から生産数が減少し大幅な収益減となった。

利用者支援については、定期的なモニタリングの実施により利用者の状況が把握でき、的確な作業訓練へ繋げることができた。また毎日の朝礼時に利用者の健康面や情緒面等に関する情報を全職員で共有することにより作業中の事故や大きなトラブル等の発生を無くすことができた。

《作業収入及び工賃》

作業種目	令和5年度作業収入額	令和4年度作業収入額	増 減
役 務	13,702,056円	13,168,261円	+533,795円
園芸・工芸	1,719,741円	1,384,116円	+335,625円
食品加工	8,381,205円	9,238,165円	-856,960円

令和4年度作業収入計	23,790,542円
令和5年度作業収入計	23,803,002円
前年度比	+12,460円
令和4年度平均工賃支給額	21,751円
令和5年度平均工賃支給額	25,138円
前年度比	+3,387円

【 Ⅲ 生活介護事業所なないろ 】

令和5年5月に新型コロナウイルス感染症が5類へ引き下げとなったが重度・高齢者の多い生活介護では前年度に引き続き感染対策の徹底を行い集団感染防止に努めながら利用者への活動支援に取り組んだ1年となった。

5年度の事業目標として前年度1日平均利用率20.3人からの向上を掲げ、利用者からのモニタリングで得た情報の活動メニュー反映や翌日の活動内容の事前告知、創作活動で作成した製品のバザー販売等、利用者の希望や関心の高い活動メニューを増やしたことで5年度は1日平均21.0人と微増することができた。

また利用者が安心・安全に利用していただくために外部講師による身体機能低下者への対応や毎朝、前日にあったヒヤリハットを振り返り具体的な支援対策を考察し対策を講じる

ことで利用中の事故ゼロに繋げることができた。

《新しい活動》

お茶利き・くじ引き・コーヒー焙煎・音楽鑑賞・カレー調理・クリスマスツリー作り・ポストカード作り・重曹アート・出前授業・化学実験・テレビゲーム・テクスチャーアート

【 IV 共同生活支援事業所ゆう 】

令和5年度の事業目標として5項目の計画を掲げ事業の推進に取り組んだ。

① 健康管理

定期通院や健康診断を計画的に実施し疾病の早期発見、早期治療に努めた。また朝、夕に健康チェックを行うことで体調不良が見られた利用者に対し早目の医療機関受診を行うことができ疾病の重症化を防止することができた。

② 事故防止

外出時やホーム内での移動時の転倒等を防ぐために次の支援を行うことで前年度より怪我等の件数が減少した。

入浴時に転倒のリスクがある男性利用者	男性職員2名での入浴介助実施
居室での転倒があった利用者	居室内の配置替えの実施

③ 感染症防止対策

居室の定期的な換気・毎朝夕の健康チェック・こまめな手指消毒と嗽を励行し新型コロナウイルス感染症の感染対策を行ったが、7月に女子利用者1名のコロナ感染が確認され、その後、女子利用者2名、男子利用者5名と感染が拡大した。感染者は感染症対策マニュアルに従い個別に管理を行い人数は8名と多かったものの比較的短期間に収束させることができた。

④ 利用者の権利擁護

世話人会議等を中心に虐待防止・身体拘束・人権擁護についての研修を実施し、利用者に対する権利擁護に努めた。

⑤ 防災訓練

訓練を通じ緊急時に対する避難の習得に努めた。

夜間想定防火避難訓練（消防立会い）	1回
日中想定防火避難訓練（消防立会い）	1回
地震・津波想定避難訓練（自主）	2回

【 V 相談支援事業 】

市町村や医療機関、障害福祉サービス事業所、介護保険事業所等との連携を図りながら相談者に対しニーズを捉えたプラン作成、定期的なモニタリングを行うことで本人に必要なサービスの提供に努めた。

① 令和5年度実績件数（ ）は前年度実績数

事業名	計画相談	モニタリング
特定相談支援事業（者・児）	104件（99件）	212件（208件）
一般相談支援事業	48件（28件）	

② 各協議会への参加及び関係事業所との連携

- ・日置市自立支援協議会 相談支援部会 6回
- ・日置市自立支援協議会 地域移行支援部会 1回
- ・日置市自立支援協議会 権利擁護部会 0回（開催なし）
- ・訪問看護事業所、日置市地域包括支援センターとの情報共有推進

③ 相談員のスキルアップ

- ・相談支援専門員研修会の参加
- ・ハラスメント対応研修参加
- ・看護師、MSW、ケアマネジャー等との連携

【 VI 公益事業 】

1) 日中一時支援事業

新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、前年度に引き続き利用人数および利用日数を制限してのサービス提供となり令和5年度の利用人数は14人で日数は18日となった。6年度は利用制限を緩和し、新規利用者の確保を行い安定した事業推進に取り組んでいく。

2) 地域交流・活性拠点ひよし吉日

令和5年9月から社会福祉法人の地域貢献とビジネス的な部門として位置づけ新たに開始し半年が経過したが当初、予定していた来館者数を大幅に上回ることができた。

しかし反面、飲食部門に偏った事業展開となり本事業の柱である地域住民や地域企業等との連携促進が課題となった。

《令和5年9月～令和6年3月の運営状況》

来客者数合計	14,983人
平均利用者数（月）	2,140人
売上合計額	11,501,020円
平均売上額（月）	1,643,002円
経費合計額（食材料費・水道光熱費・償還金） *償還金は月額473,000円	8,958,752円
収支差額（9～3月）	+2,542,268円

*経費合計額は人件費を除く

【 VII 令和5年度 利用状況 】

《障害者支援センターうめの里・生活介護事業所なないろ合算》

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
開所 日数	22	23	22	23	23	22	23	22	23	23	21	23
登録 者数	76	77	77	77	76	76	75	75	75	75	75	75

《障害者支援センターうめの里》定員40名

月	登録者数	平均利用者数／日
4月	52	49.8
5月	53	50.1
6月	53	50.1
7月	53	46.4
8月	52	45.0
9月	52	48.7
10月	51	47.8
11月	51	48.3
12月	51	48.6
1月	51	47.2
2月	51	47.8
3月	51	47.7

《生活介護事業所なないろ》定員20名

月	登録者数	平均利用者数／日
4月	24	22.2
5月	24	21.1
6月	24	21.6
7月	24	19.5
8月	24	20.7
9月	24	21.3

10月	24	21.6
11月	24	21.9
12月	24	21.3
1月	24	21.1
2月	24	21.7
3月	24	21.4

《共同生活支援事業所ゆう》入居定員20名（男性10・女性10）

	入居者数（男性）	入居者数（女性）
4月	10	10
5月	10	10
6月	10	10
7月	10	10
8月	10	10
9月	10	10
10月	10	10
11月	10	10
12月	10	10
1月	10	10
2月	10	10
3月	10	10

【 VIII 利用者行事等 】

実 施 月	行 事 名
4 月	防災訓練
5 月	バーベキュー大会
6 月	実施なし
7 月	健康診断・七夕
8 月	実施なし
9 月	実施なし
10月	防災訓練・上半期誕生会
11月	仲よしスポーツ大会 (GH 参加)・知的障害者フットサル大会 秋季レクレーション (日帰り旅行)
12月	クリスマス会・忘年会・餅つき (利用者、職員のみにて開催)
1 月	初詣・新成人を祝う会
2 月	節分
3 月	防犯訓練・グランドゴルフ大会・下期誕生会

【 IX 健康管理 】

年1回の定期健康診断と看護師による健康観察の実施により、疾患の早期発見に努めるとともに、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策の徹底 (利用開始時の検温・消毒・食事時の飛沫対策等)、インフルエンザやノロウイルス等の感染予防対策を行った。

【 X 給食 】

利用者の食の安全を第一に考えた食材の提供を実践し、食前の手洗い励行等、食中毒の防止に努めた。

- ・利用者を変えた給食委員会の開催（3回）
- ・週1回の栄養士による給食会議
- ・嗜好調査の実施と献立への反映
- ・行事食の充実（季節感を味わえるメニュー）
- ・手作りの食材提供

【 X I 職員の資質向上 】

専門職としての資質向上のため、内部研修の実施、ケース検討会を定期的に開催した。外部研修については新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い対面での研修会も開催されるようになったことから各種研修会に参加し職員のスキル向上に努めた。

- ・障害者福祉制度等に関する職員勉強会の開催
- ・各事業所会議の開催（毎月）
- ・事業所連絡会議（毎月）
- ・事例検討会の開催（毎月）
- ・外部研修会参加及び報告会の開催（オンライン参加を含む）
- ・サービス管理責任者資格取得研修参加
- ・相談支援専門員研修参加

《主な研修会参加状況》

研修会名	主催	参加者	参加形態
管理職基礎コース	九州経済研究所	東（里）	会場参加（県内）
新入社員ビジネスセミナー	南日本銀行	堤・河野・名原	会場参加（県内）
営業担当者のマーケティングスキルセミナー	九州経済研究所	東（里）	会場参加（県内）
会計セミナー	公益法人協会	並松	会場参加（県内）
新任職員研修会	県知的障害者福祉協会	堤・河野・名原	会場参加（県内）

			内)
九州地区知的障害者関係施設職員研修大会	九州地区知的障害福祉協会	山口・小山 前田	会場参加（長崎）
全国知的障害者施設長等研修会	日本知的障害者福祉協会	下笠	会場参加（東京）
クリエイティブ研修会	県知的障害者福祉協会	並松・河野	会場参加（県内）
人権擁護研修会	県知的障害者福祉協会	堤	会場参加（県内）
全国社会就労センター総合研究大会	全国社会就労センター協議会	玉利・大江	会場参加（大分）
社会福祉法人監事等研修会	県社会福祉協議会	平地監事・並松	オンライン参加
ハラスメント対応研修	県社会福祉協議会	黒木	オンライン参加
全国 GH 等研修会	日本知的障害者福祉協会	亀割	会場参加（広島）
九州社会就労センター研究大会	九州社会就労センター協議会	東・竹内・七夕	会場参加（熊本）
社会福祉法人監事等研修会	県地域振興局	平地監事	会場参加（県内）
県社会就労センター協議会施設長等研修会	県社会就労センター協議会	東・有馬・並松	会場参加（県内）
施設長研修会	県知的障害者福祉協会	下笠	会場参加（県内）
施設長・管理者研修会	県社会就労センター協議会	東・竹内	会場参加（県内）
全国社会就労センター長研修会	全国社会就労センター協議会	永山	会場参加（東京）

【 X II 各種委員会・研修会の開催 】

委員会・研修名	回数
障害者虐待防止委員会	1 回

障害者虐待防止職員研修会	10回
身体拘束適正化委員会	1回
身体拘束適正化職員研修会	10回
感染症対策委員会	4回
感染症対策職員研修会	17回

【 XⅢ 苦情受付 】

事業所	件数	申出者	内 容	結 果
うめの里	2	母親	個別支援計画に記載のある本人の状況と連絡帳に書かれている作業の状況が異なっているのでありのままを書いて欲しい。	解決済
			同じ送迎車に乗っている他の利用者が毎日、遅刻してくるので何とかして欲しい。	解決済
なないろ	0	—	—	—
ゆう	0	—	—	—

【 XⅣ 事 故 】

事業所	件 数	主な内容	処 理
うめの里	0	—	—
なないろ	0	—	—
ゆう	1	12月30日にホーム居室で転倒し鼻筋から眉間にかけて切創する。	通院治療済

【 XV 身体拘束・虐待 】

事業所	種 類	件 数	種 類	件 数
うめの里	虐待の発生	0	身体拘束の実施	0
なないろ	虐待の発生	0	身体拘束の実施	0
ゆう	虐待の発生	0	身体拘束の実施	0